

港区派遣型一時保育・育児支援家庭訪問 あい・ぽーと子育てサポート事業

利用会員の皆様へ カバイ通信 第18号

「カバイ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「ありがとう」という意味です。この事業は、ニュージーランドのプレイセンターの活動に学ぶ面もあって、マオリ語を用いています。

2010年11月15日

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

住所：〒107-0062

東京都港区南青山 2-25-1

電話：03-5785-1577

FAX：03-5786-3264

「カバイ通信」は、2月・5月・8月・11月との15日に発行します。

ホームページから、ご覧になれます。<http://www.ai-port.jp/>



◆◆会員の皆様からのお声◆◆

～利用会員より～

こんなことが出来るようになりましたね、こんな遊びが好きですね等、支援会員さんに教えていただいて初めて気付くことがよくあります。お願いしている1歳の息子だけでなく、上の娘にも優しく相手をして下さり感謝しています。
(大塚さんより)

9ヶ月の次女がお世話になっています。普段は長女の予定に振り回されがちですが、支援会員さんのいらっしゃる日は、御機嫌に過ごしています。娘の成長を共に楽しんで下さる支援会員さんの存在はとても心強いです。
(kさんより)

～支援会員より～

子どもと過ごす時間の中で、時折心の中にいろいろな色を感じることがあります。自分が育った家の良いこと、嫌だったことの全部が色になって残っていてそれが甦ってくるのでしょうか。我が家にもどったように懐かしいことがあります。
(岩田さんより)

今1歳9ヶ月になる男の子のお泊り保育をしています。ちょうど1年になります。週1回お泊りと朝食の介助で、夜中に何度も起き、私を確認して再び寝ます。朝起きるとお話しもしてくれるので、毎回楽しみに訪問しています。
(金子さんより)

◆◆利用会員さまへのお願い◆◆

病後児保育に関するお願い

寒さがぐっと厳しくなり、風邪や嘔吐下痢など、さまざまな感染症にかかることも多い時期です。派遣型一時保育では、病後児保育の支援活動は行えますが、原則として“病児保育”はお引き受けしておりません。病後児保育を利用する場合は、「会員のしおり」にも記載の通り、「港区病後児保育派遣利用連絡票」の届けが必ず必要となります。また、実際に病後児保育を利用しなかった場合でも、医師に「港区病後児保育派遣利用連絡票」を記入していただいた時には、お手数ですが事務局までご連絡ください。

尚、感染拡大を防ぐ観点から、利用会員の皆様には下記の点についてご協力願います。

- 病状が不安定（高熱など）または感染の恐れがある場合のご利用はご遠慮ください。
- 保護者の急病時の保育などの場合は、お子様の体調についても十分に確認をし、別室に保育場所を設けるなど感染を防ぐご配慮をお願い致します。
- 支援会員本人もしくはその家族が感染症に感染した場合、1週間前後支援をお休みさせていただきます。利用会員様へは速やかにご連絡を差し上げますので、ご了解ください。
- その他、支援の依頼をする際は、事前にお子様（ご家族）の体調についてお伝えくださるよう、日頃から心がけてくださいますよう、お願いいたします。

◆◆事務局から◆◆

一時保育あおばの対象年齢を拡大します ～小学生もご利用いただけるようになりました～

子育てひろば「あい・ぽーと」一時保育あおばにてお預かりするお子さんの年齢を12月から小学6年生まで拡大出来ることになりました。夕方以降、親の就労等の都合で、家庭保育が不可能なお子さんをお預かりいたします。お子さんが館内で楽しく夕食を食べて、子育て・家族支援者や学生と一緒に宿題をしたり、読書をしたりしてくつろいで過ごせる環境を整え、安心してお預け頂けるように一時保育あおばの保育室以外も、利用する予定です。親が安心して働くことができるよう、利用される方々のニーズに寄り添うことを目指しています。詳しくは、ホームページ (<http://www.ai-port.jp>) にお知らせを掲載しております。ご希望の方は子育てひろば「あい・ぽーと」(TEL:03-5786-3250 Mail:info@ai-port.jp) までお問い合わせください。



※「カバイ通信」は、8月、11月、2月、5月の15日に発行しますので、ホームページからご覧下さい。(<http://www.ai-port.jp/>)

尚、ご覧頂けない場合は、FAX又はご郵送いたしますので、お手数ですがお電話にて事務局までお知らせ下さい。

子育て・家族支援者養成講座事務局 (副施設長 池田)